

歳出分析票

団体名： 阪南市職員組合

<p>歳出の項目</p>	<p>①物件費（賃金）および職員数・人件費（4. 性質別、1. 財政診断） ②維持補修費および普通建設事業費（4. 性質別） ③積立金（4. 性質別）</p>
<p>特筆すべき内容 （近隣の団体や他の年度と比較して特徴ある内容など）</p>	<p>①賃金が近隣市と比べて非常に高い。 ①職員数は減員傾向にあるものの、近隣団体の中では中位程度に位置している。 ①人件費（職員給）は、近隣市同様、減少傾向で下位にあったが、2011年度には増加に転じ、2012年度は中位に位置づけている。 ②維持補修費はおおむね上位に位置づけているものの、普通建設事業費は下位に位置づけている。 ③積立金が毎年微増傾向にあり、特に2009～2011年度の伸び率が高くなっている。</p>
<p>上記の背景と問題点</p>	<p>①賃金が高いのは、正規職員数の減少に伴い、臨時・非常勤職員数が増加。嘱託員や任期付職員は少なく、幼稚園や保育所などの専門職場、清掃作業員などの現業職場においても臨時・非常勤職員に頼らざるを得ない状況。また、賃金のグラフは横ばい状態であり、賃金の単価改定等がなされていないと推測。 ①人件費において、2011年度、市立病院の指定管理に伴い、病院職員の職種変更の実施により増加に転じた。また、2011～2012年度の間、独自の給与削減措置を実施していたが、本市の位置づけが下位から中位に変わり、ラスパイレース指数も大阪府内で上位に位置づけている。 ②教育施設や公共施設が非常に多く、維持管理費用が高い状況にある。建物も老朽化が進み、耐震化等も未整備のため、今後、さらに維持管理費用が増加するものと危惧される。 また、普通建設事業費においては、2005・2006年度の「し尿処理施設の建設」、2010年度の「耐震化に伴う中学校建て替え」以外は、必要最低限しか行っていない。今後、災害対策等における普通建設事業費の財源の捻出、職員の給与等に影響しないか非常に危惧される。 ③歳入確保及び歳出抑制等により、積立金が毎年微増しており、近隣市と比べてもここ数年は高くなってきている。今後は財政調整基金だけでなく、目的基金を設置し積み立てていく必要がある。</p>

今後の方向性など
(上記の問題点を
解決するための
方策など)

①職員数の減少に伴って臨時・非常勤職員数の増加は必然であり、その賃金は必要経費である。しかし、臨時・非常勤職員数を抑制すると職員への負担増となり、逆に正規職員数が過大になると財政状況への影響が懸念されるなど諸刃の剣の面があるため、バランスを見極めつつ、正規職員と非常勤職員等の住み分けを行い、適正配置に努める必要がある。また、今後は、職場に応じた雇用形態（任期付職員や嘱託員など）の採用を実施し、必要不可欠な存在である臨時・非常勤職員の処遇改善も財政状況や近隣市の状況等を一定踏まえながら取り組む必要がある。

②職員数は、市の施策・業務に必要な適正人数を導き出し、計画的な採用や適正配置等を行う必要がある。また、業務改善や機構改革などを実施し、職員の負担軽減・事務の効率化を図り、市民サービスの向上・職員のモチベーションアップにつなげる必要がある。

また、人件費（職員給）についても、近隣市と比べても職員の給与体系は決して高くないにもかかわらず、人件費やラスパイレス指数が高くなっていることから、今後は適正な職員数の確保をはじめ、職員の給与体系の市民への周知方法、ラスパイレス指数のあり方などを検討していく必要がある。

③維持補修費用については、他市と比べて施設数が多いことから、施設の整理統合や地域への移管などを進めるとともに、適正な使用料等を徴収し財源確保に努める必要がある。

また、今後、南海トラフ地震等の大規模災害に備え、既存建物の耐震化やインフラ整備も必要となってくることから、国庫補助金や起債等を活用するなど財源を確保した上で、計画的な改修事業や普通建設事業を進めていく必要がある。

④積立金は、これまで同様、歳入の確保及び経費節減等に努め、少しでも増えるように取り組んでいく必要はあるが、財政調整基金のみならず、退職引当金などの目的基金を設置し、積み立てる必要がある。また、積立金は市の施策等によって大きく左右されることから、今後は、積立金残高の動向等も踏まえつつ各施策・事業を展開し、安易な独自給与削減措置等につながることをないよう提言していく必要がある。

☆本市のような小さい財政規模では、歳入に応じて歳出を執行、歳出の執行には歳入の確保と非常に厳しい状況にある。特に自主財源が小さいため、財源がなければ大きな施策を打ち出すこともできない。

また、小さな失敗から、市民サービスの低下や職員給与への反映など大きな打撃につながりかねないため、適正な歳入歳出となるよう当局の動向を注視する必要がある。